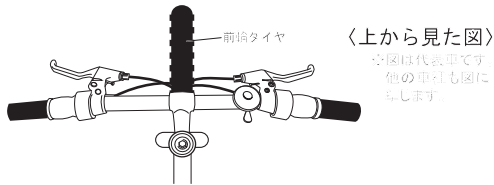


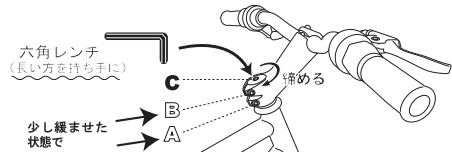
●ハンドルの取付方法-⑤

アヘッド式ハンドルタイプ

1 真上から見た状態で、ハンドルが真っ直ぐになる（ハンドルがタイヤに対して直角になる）ようにします。

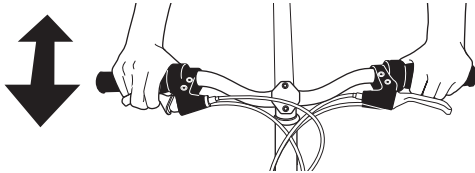


2 下記ABボルトを少し緩めた状態にし「C」のボルト（フレッシュアアンカーボルト）で締め込み調整を行います。ここからは微調整であるため、2～5の作業を少しずつ行ってください。

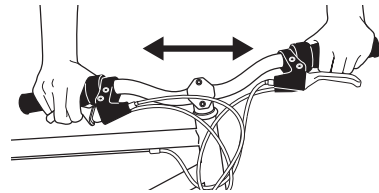


※「C」のボルトを締めすぎるとキャップが割れます。ガタつきがなくなる程度に締め付けを行ってください。

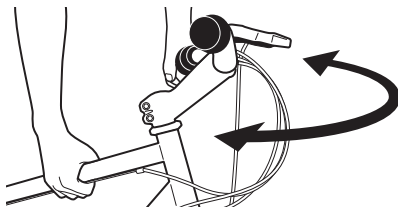
3 前輪のブレーキをかけて車体を前後にゆすってください。2の締め込みが少ない場合には「カタカタ」といった手ごたえが生じます。その場合は少しだけ2の締め込みを行ってください。



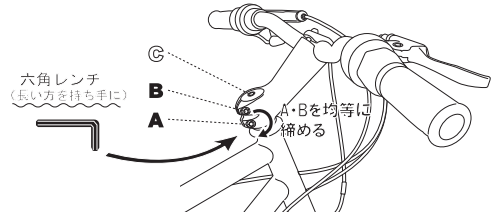
4 ハンドルをきった状態でも同様に前輪ブレーキをかけて車体を前後に揺すってください。同様にガタつきがあれば「C」のボルトを少し締めつけます。



5 フレームを持ち上げ、前輪を浮かせた状態で、ハンドルを左右にきってみます。きれが重かったり、途中で止まってしまう場合は「C」ボルトが締めすぎています。反対にスカスカと浮いたような感じで回転する場合は3や4の作業でガタつきを確認できますので、2に戻って「C」のボルトを少し増し締めしてください。



6 2～5の作業を行い、ガタつきが解消されてから「A」「B」ボルトを締めつけます。あまり強く締めすぎるとネジ頭が破損してしまいますのでご注意ください。十分に固定できているかの確認は、次ページの方法で行ってください。



注意

ご乗車される前に、毎回ハンドルの固定確認を行い、確実に固定されているのかご確認下さい。

固定されていない場合は、再度締め付けを行って下さい。

乗車する際は各部のガタ、ゆるみがないか確認してください。

ガタ、ゆるみのある場合は再度各部の締め付けを行ってください。